



土浦一高(定時制)だより

6月増刊号 社会人講話①

土浦市真鍋4丁目4-2
Tel. 029-822-0137



6月26日に社会人講話を実施しました。



今年度一回目の社会人講話は、本校の卒業生で、国立極地研究所・総合研究大学院大学助教の藤井昌和さんを講師としてお招きしました。「海と地球の科学が向き合う 21 世紀」と題して、南極観測や深海調査の仕事の一端を、スライドや映像をふんだんに使って紹介してくださいました。海底 6000m の泥を採取して調べると 30 万年前の様子が見えてくることなど、専門的で貴重なお話に生徒たちは興味深く聴き入っていました。

最後の質疑応答では、「なぜしんかい 6500 のような潜水艇をもっと作らないのか?」、「海底から噴き出すお湯でエビは死なないのか?」、「海水汚染などで南極のサンゴ礁はあとどのくらいで消えてしまうのか?」など、素朴な疑問や鋭い質問が出されました。

藤井さんは高校時代、将来の夢が漠然としている中、「まだ何もない。けど何かを見つけたい。」と思いつながりながら生活していたそうですが、「真剣に取り組めば、いつか何かが見えるはず。」と教えてくれました。

今後も、多方面に見識を広げるため、様々な分野の社会人を招いて、講話を行う予定です。



深海の岩石は興味深かったですね!